第５章　身体障害者・知的障害者・精神障害者の状況

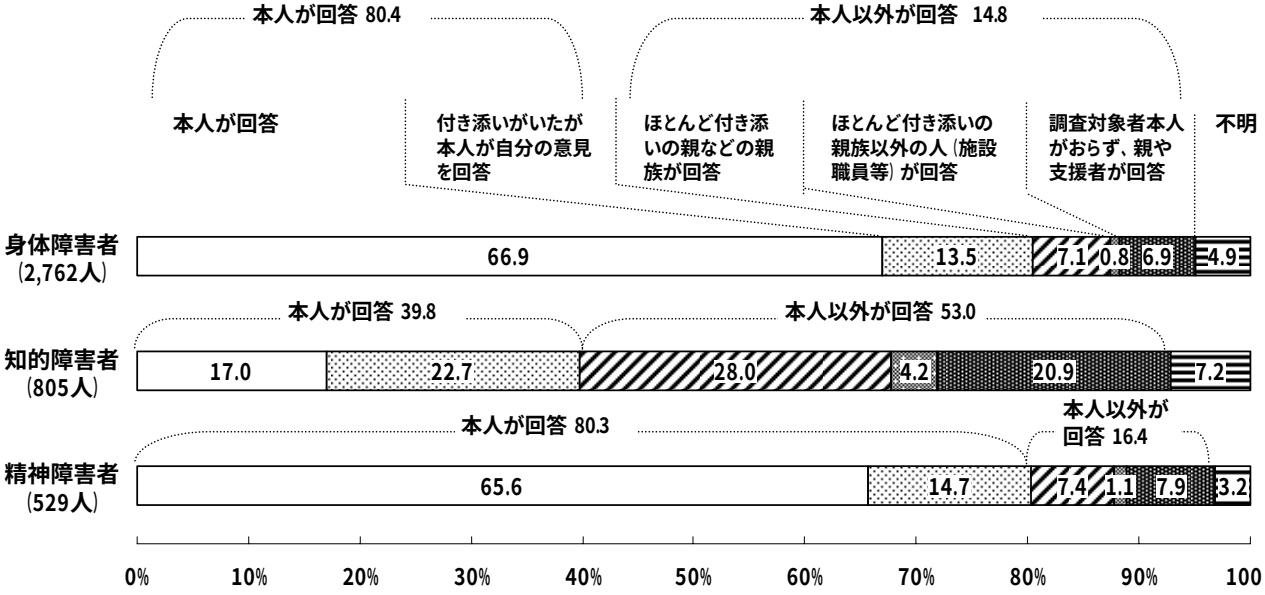
本調査では、調査対象者ごとに身体障害者、知的障害者、精神障害者の３種類の調査票により調査を実施したが、各調査票間で共通であるもののうち、相互に比較することが可能なものや特徴のあるものを掲載する。

１　回答者の概況

（１）回答者の状況

回答者の状況は、身体障害者及び精神障害者では「本人が回答（「本人が回答」＋「付き添いがいたが本人が自分の意見を回答」）」の割合が８割を超えているが、知的障害者では、約４割（39.8%）であった。（図Ⅴ-1-1）

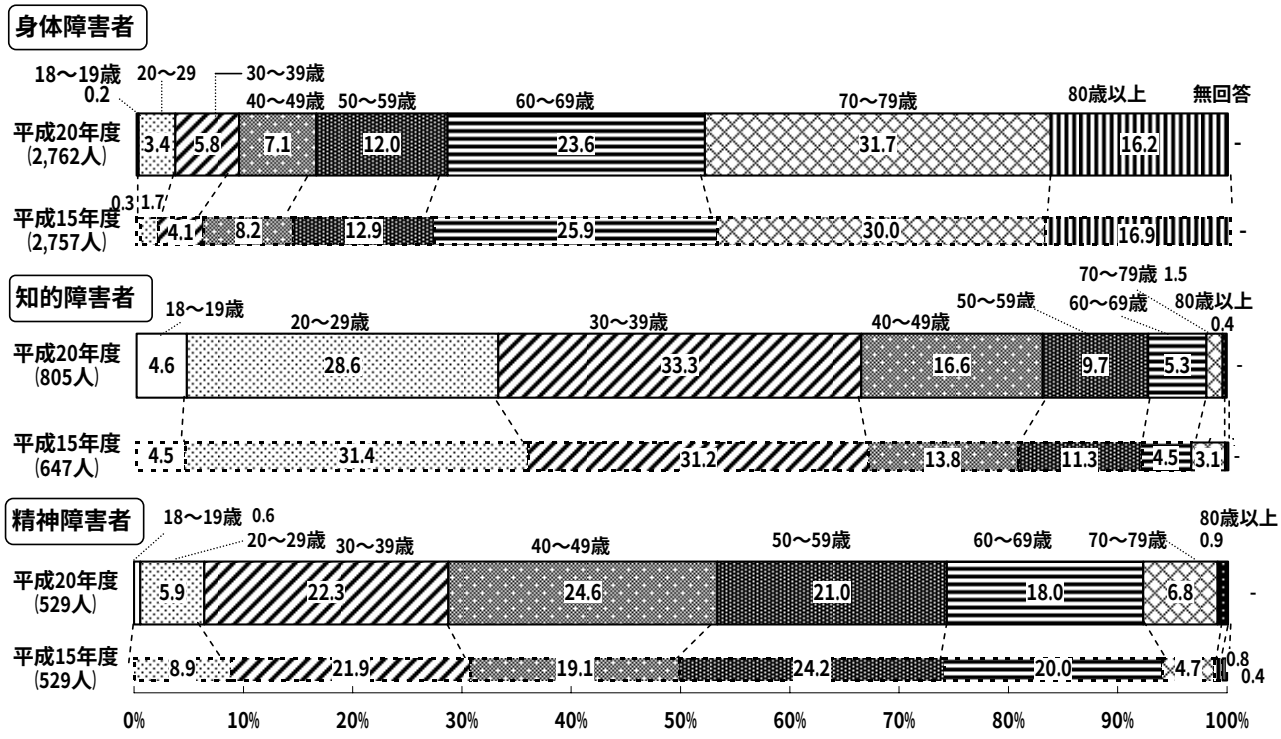
図Ⅴ-1-1　回答者の状況



（2）年齢階級

回答者の年齢階級をみると、身体障害者では「70～79 歳」の割合が 31.7%、知的障害者では「30～39 歳」が 33.3%、精神障害者では「40～49 歳」が 24.6%とそれぞれ最も高くなっている。身体障害者は、60 歳以上の割合が、71.5%と 7 割を超えている。（図Ⅴ-1-2）

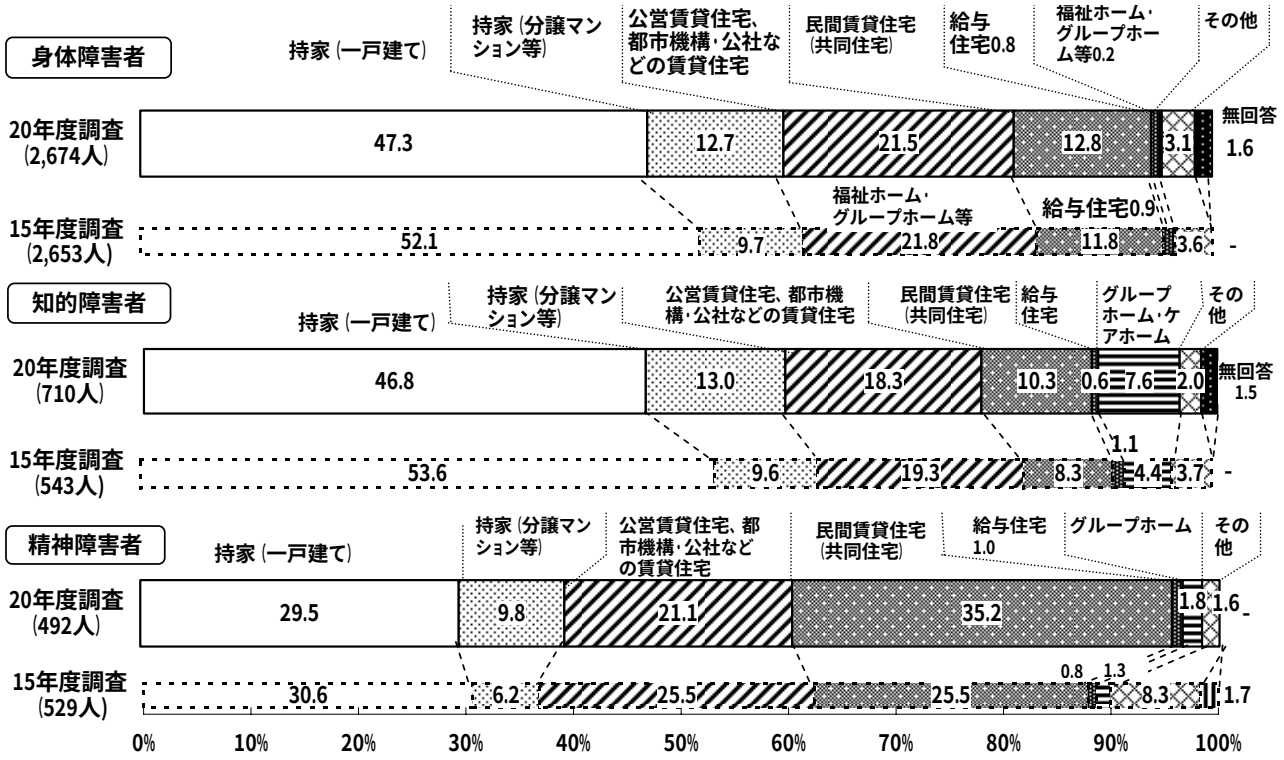
図Ⅴ-1-2　年齢階級



2 住居の種類

在宅で生活している人に住居の種類を聞いたところ、「持家」の割合は、身体障害者では60.1%、知的障害者では59.7%と約6割であるが、精神障害者では39.2%と約4割である。知的障害者の「グループホーム・ケアホーム」の割合は7.6%で、前回調査に比べて3.2ポイント上昇している。(図Ⅴ-2-1)

図Ⅴ-2-1　住居の種類

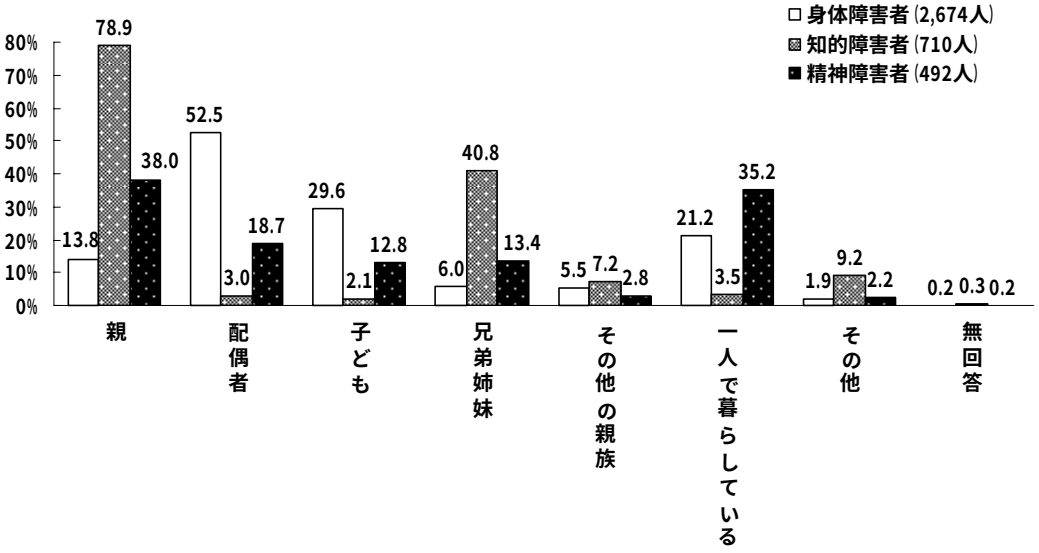


(注)住居の種類については、所有、賃貸の名義が障害者本人と限定していない。そのため、家族等の名義になっている場合も含まれており、調査結果と所有者、賃貸の名義人とは必ずしも一致しない。

3　一緒に生活している人〔複数回答〕

在宅で生活している人に、現在一緒に生活している人を聞いたところ、身体障害者は「配偶者」の割合が最も高く 52.5%、知的障害者は「親」の割合が最も高く 78.9%と 8 割近くとなっている。精神障害者も「親」の割合が 38.0%と最も高いが、「一人で暮らしている」の割合も 35.2%と高くなっている。(図Ⅴ-3-1)

図Ⅴ-3-1　一緒に生活している人〔複数回答〕



4　収入の状況

(1)収入の種類(主なもの)

平成 19 年中の収入の種類(主なもの)を聞いたところ、3 障害とも「年金・恩給」の割合が最も高かった(身体障害者 63.8%、知的障害者 53.9%、精神障害者 45.0%)。知的障害者では「賃金・給料」の割合が 24.6%、精神障害者では、「生活保護費」の割合が 23.1%と 2 割を超えている。(表Ⅴ-4-1)

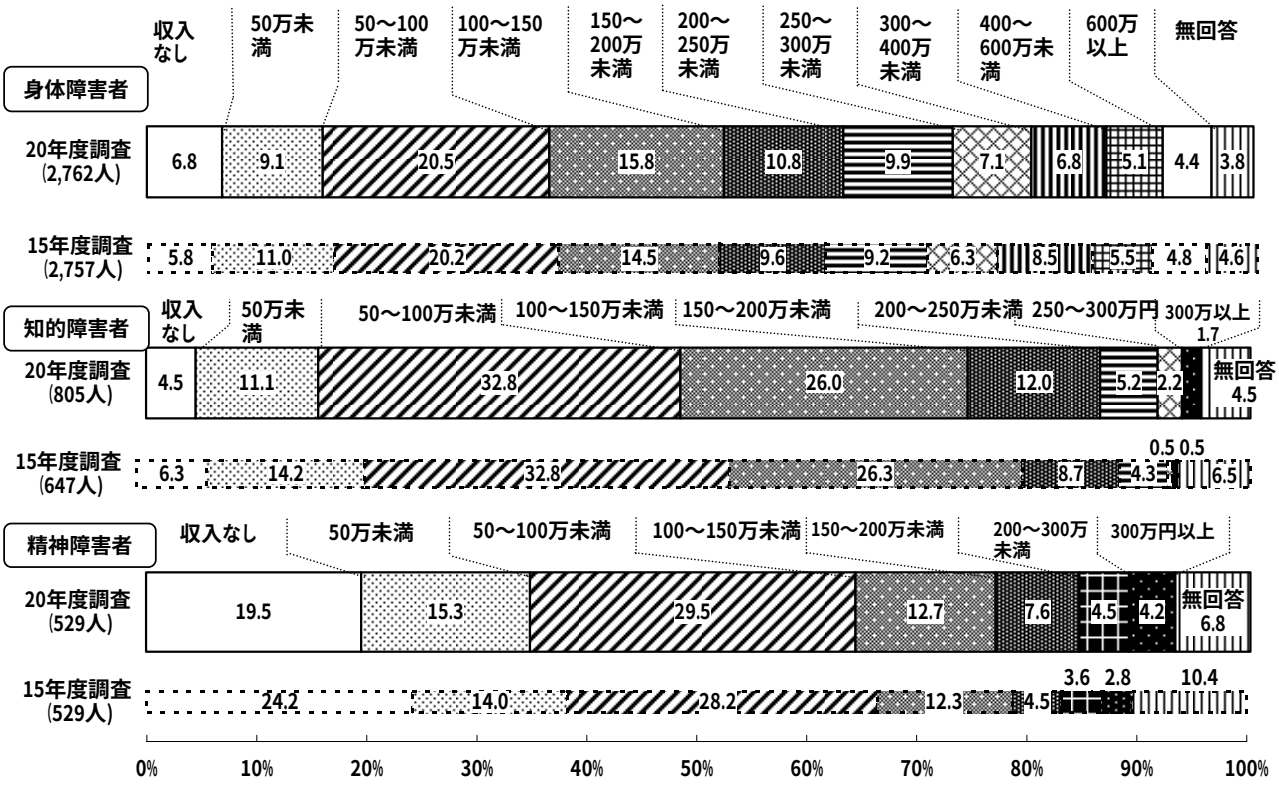
表-4-1　収入の種類(主なもの)

	総数	賃金・給料	事業所得	内職収入	家賃・地代	利子・配当	仕送り	養育費・慰謝料	年金・恩給	生活保護費	手当	雇用保険	保険金・補償金	作業所等の工賃	その他の収入	収入はなかった	無回答
身体障害者	100.0 (2,762)	15.9	2.2	0.1	2.9	0.2	0.1	-	63.8	5.6	3.0	0.2	0.2	0.4	0.8	3.5	1.0
知的障害者	100.0 (805)	24.6	-	-	0.7	-	0.4	-	53.9	1.7	6.2	0.1	-	7.1	0.2	4.3	0.6
精神障害者	100.0 (529)	11.5	0.6	-	0.4	-	2.1	0.2	45.0	23.1	1.5	0.4	0.2	2.1	2.5	8.9	1.7

（2）平成 19 年中の収入額（生活保護費を除く）

平成 19 年中の収入額（生活保護費を除く）を聞いたところ、3 障害とも最も割合が高かったのは、「50～100 万円未満」で、身体障害者 20.5%、知的障害者 32.8%、精神障害者 29.5%であった。精神障害者は、身体・知的障害者よりも「収入なし」「50 万円未満」の割合が高くなっている。（図Ⅴ-4-1）

図Ⅴ-4-1　平成 19 年中の収入額（生活保護費を除く）

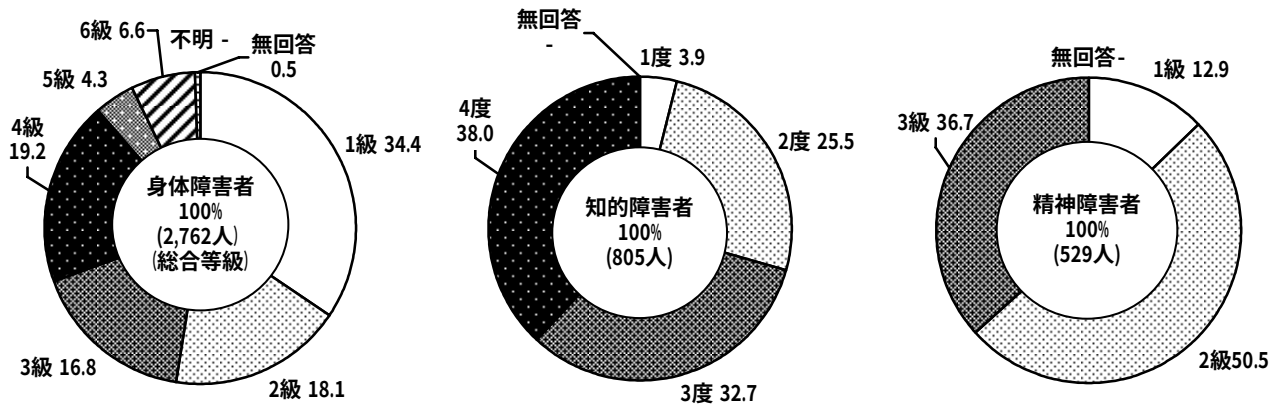


5　障害の状況、健康・医療

（1）障害者手帳の等級、程度（身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳）

身体障害者の手帳の等級は「1 級」の割合が 34.4%と最も高く、知的障害者の愛の手帳の程度では、「4 度」が 38.0%と最も高い。また、精神障害者の精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2 級」が 50.5%と約半数となっている。（図Ⅴ-5-1）

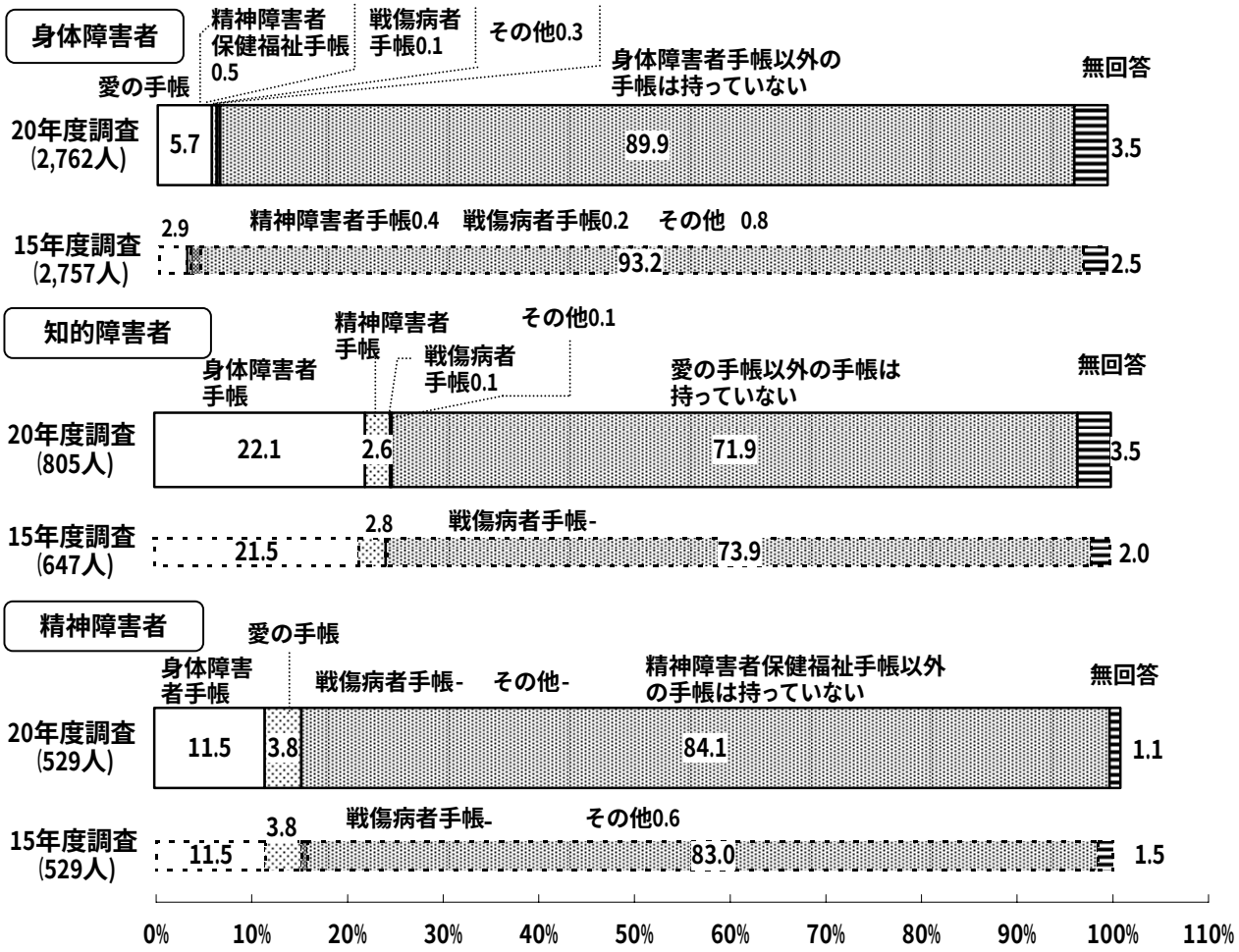
図Ⅴ-5-1 障害者手帳の等級、程度（身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳）



（２）重複障害の状況〔複数回答〕

身体障害者のうち、愛の手帳（知的障害）を持っている人の割合は 5.7%、精神障害者保健福祉手帳を持っている人の割合は 0.5%である。また、知的障害者のうち身体障害者手帳を持っている人の割合は 22.1%、精神障害者保健福祉手帳をもっている人の割合は 2.6%であり、精神障害者のうち身体障害者手帳を持っている人の割合は 11.5%、愛の手帳（知的障害）を持っている人の割合は 3.8%となっている。（図Ⅴ-5-2）

図Ⅴ-5-2　重複障害の状況〔複数回答〕

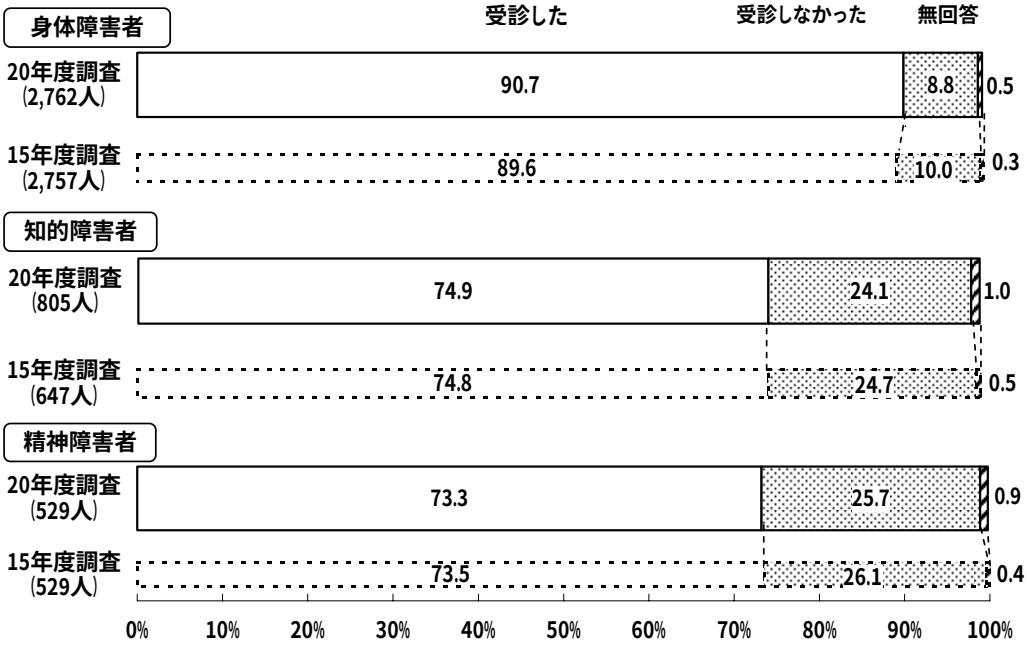


（注）複数回答のため、内訳の合計は 100%にはならない。

（3）医療機関の受診の有無

過去１年間に受診したかを聞いたところ、「受診した」人の割合は、身体障害者が 90.7%、知的障害者が 74.9%、精神障害者が 73.3%となっている。（図Ⅴ-5-3）

図Ⅴ-5-3　医療機関の受診の有無

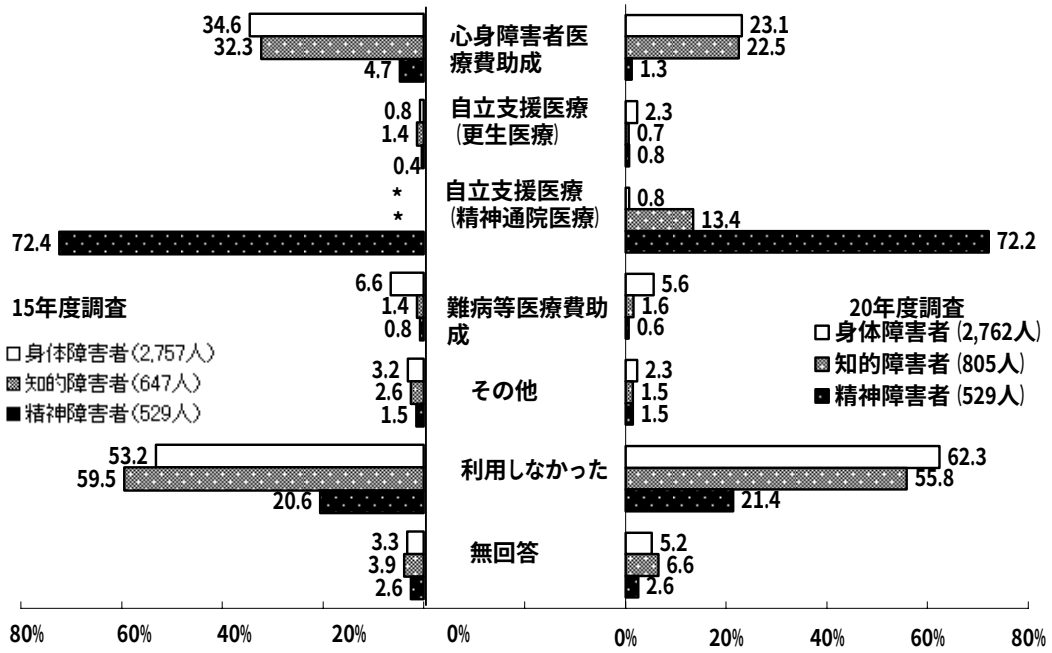


（注）精神障害者のみ精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）以外の病気やケガでの受診の有無である。

（4）医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕

過去１年間に医療費助成等を利用したか聞いたところ、「心身障害者医療費助成」を利用した人は身体障害者 23.1%、知的障害者 22.5%と、それぞれ 2 割以上となっている。精神障害者は、「自立支援医療（精神通院医療）」を利用した人の割合が 72.2%と 7 割を超えている。（図Ⅴ-5-4）

図Ⅴ-5-4　医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕



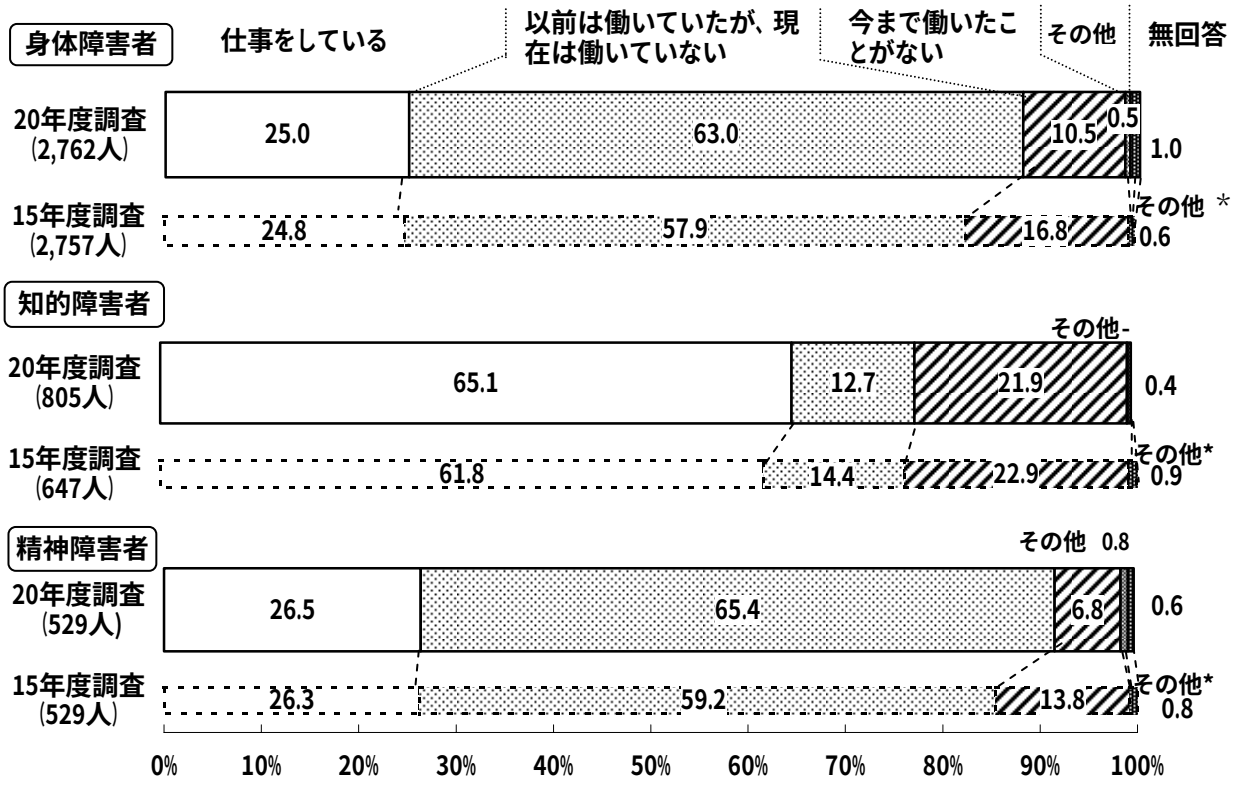
（注）・*は前回調査時、選択肢がなかったもの。
・「利用しなかった」には医療費助成等対象外の人も含む。

6　就労の状況

（1）収入を伴う仕事（作業所、授産施設等を含む）の有無

平成 20 年 10 月 15 日現在、収入を伴う仕事をしているかどうか聞いたところ、「仕事をしている」と答えた人の割合は、身体障害者が 25.0%、知的障害者が 65.1%、精神障害者が 26.5%となっている。知的障害者で「仕事をしている」人の割合は、15 年度調査と比較して、3.3 ポイント上昇している。（図Ⅴ-6-1）

図Ⅴ-6-1　収入を伴う仕事（作業所、授産施設等を含む）の有無

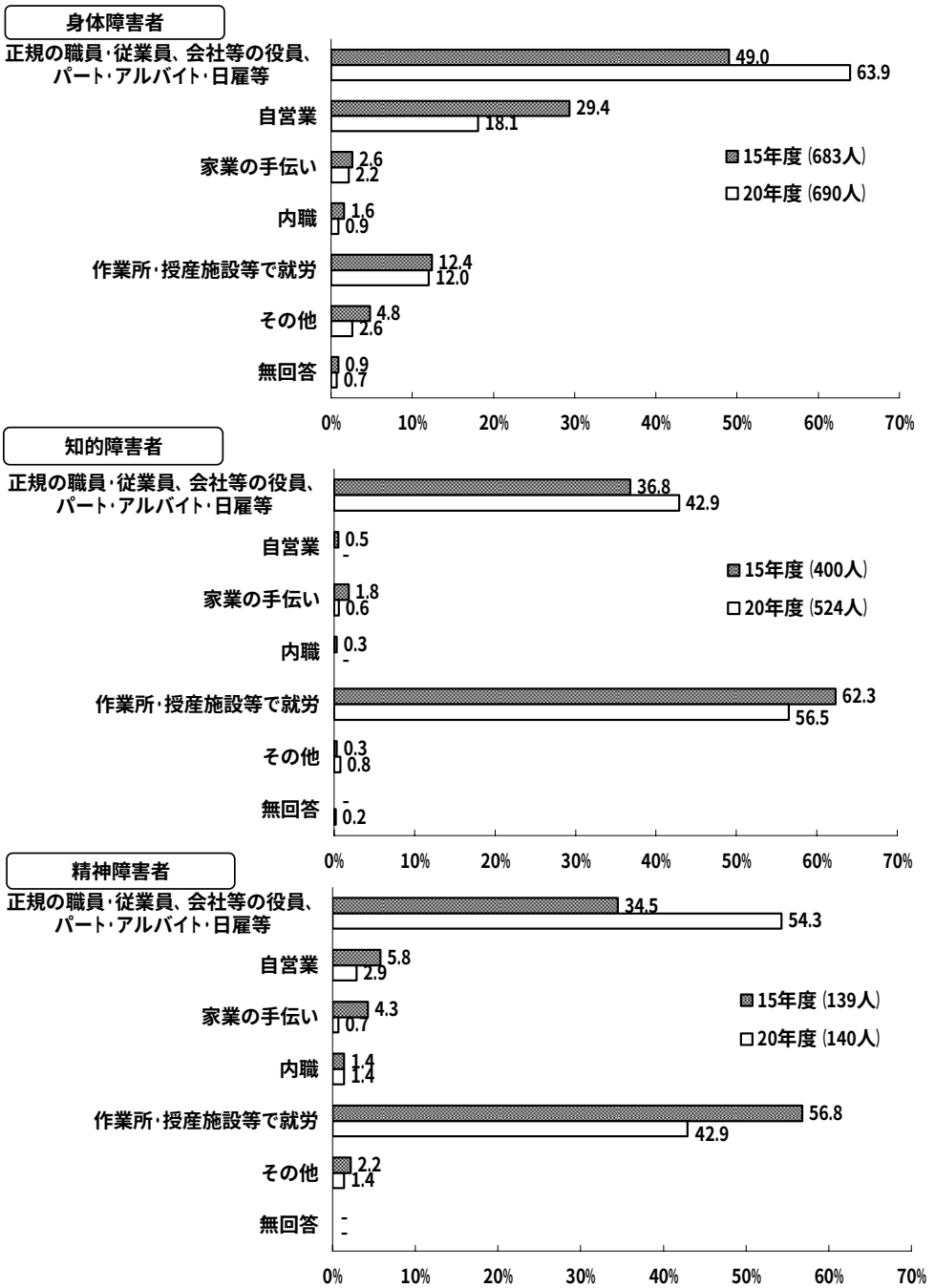


（注）・*は前回調査時、選択肢がなかったもの
・その他は、病気休職中、産休・育児休業中などの場合である。

（2）仕事の種類〔複数回答〕

仕事の種類をみると、身体障害者と精神障害者では一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）の割合が高く（身体障害者 63.9%、精神障害者 54.3%）、知的障害者では「作業所・授産施設等で就労」が 56.5%と高くなっている。前回調査（15 年度調査）と比較して、知的障害者では、「作業所・授産施設等で就労」の割合が 5.8 ポイント下がる一方、一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）が 6.1 ポイント上昇した。精神障害者では、「作業所・授産施設等で就労」の割合が 13.9 ポイント下がり、一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）が 18.9 ポイント上昇した。3 障害ともに一般就労（「正規の職員・従業員、会社等の役員、パート・アルバイト・日雇等」）の割合が上昇している。（図Ⅴ-6-2）

図Ⅴ-6-2　仕事の種類〔複数回答〕

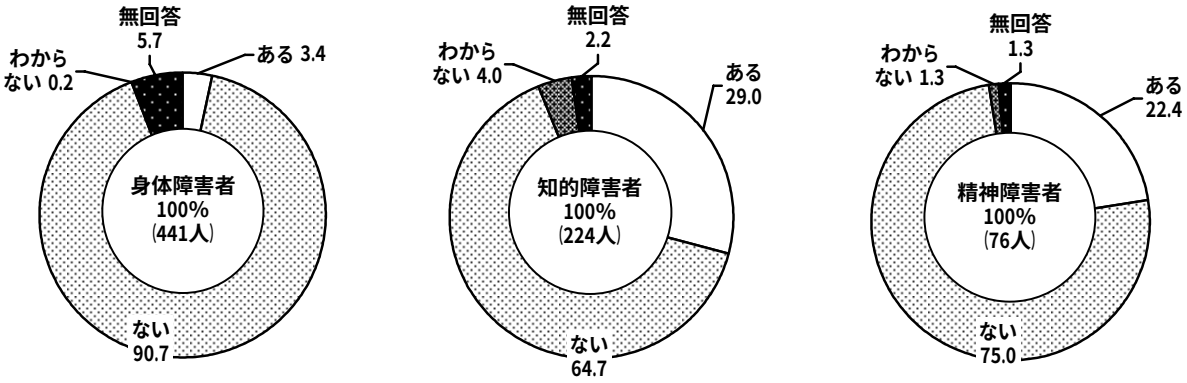


（注）20 年度調査の「パート・アルバイト・日雇等」は、契約職員、派遣職員等を含む。

（3）作業所、授産施設等の利用経験

現在仕事をしている人で、仕事の種類が「正規の職員・従業員」「会社等の役員」「パート・アルバイト・日雇等」の人に、これまでに作業所や授産施設等を利用したことがあるか聞いたところ、利用したことが「ある」と答えた割合は、身体障害者では3.4%、知的障害者では29.0%、精神障害者では22.4%であり、いわゆる「福祉的就労」から「一般就労」に移行したことが伺える。（図Ⅴ-6-3）

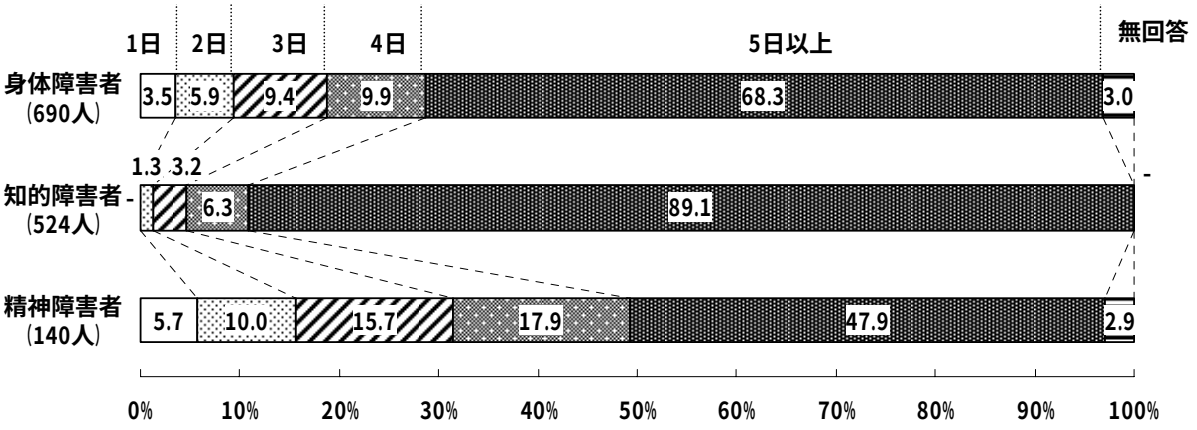
図Ⅴ-6-3　作業所、授産施設等の利用経験



（4）1週間の就労日数

仕事をしている人に1週間の就労日数を聞いたところ、3障害とも「5日以上」の割合が最も高かったが、身体障害者は 68.3%、知的障害者が 89.1%であるのに対し、精神障害者では47.9%と半数に満たなかった。（図Ⅴ-6-4）

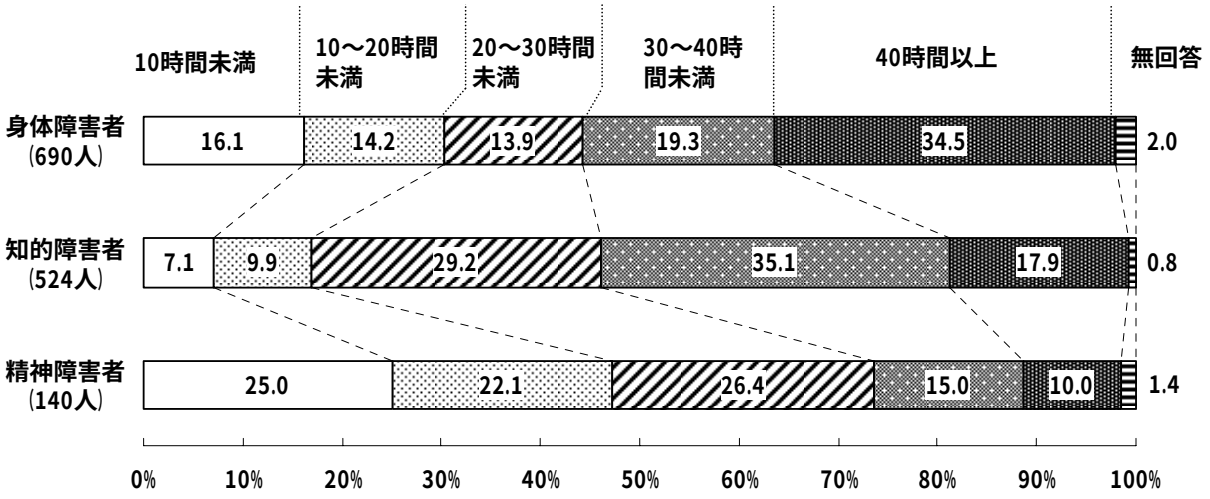
図Ⅴ-6-4　1週間の就労日数



（５）１週間の労働時間

仕事をしている人に１週間の労働時間を聞いたところ、身体障害者は「40 時間以上」の割合が 34.5%、知的障害者は「30～40 時間未満」が 35.1%、精神障害者は「20～30 時間未満」が 26.4%と最も高くなっている。30 時間以上の人の割合は身体障害者では 53.8%、知的障害者では 53.1%と半数を超えているが、精神障害者は 25.0%と４人に１人となっている。（図Ⅴ-6-5）

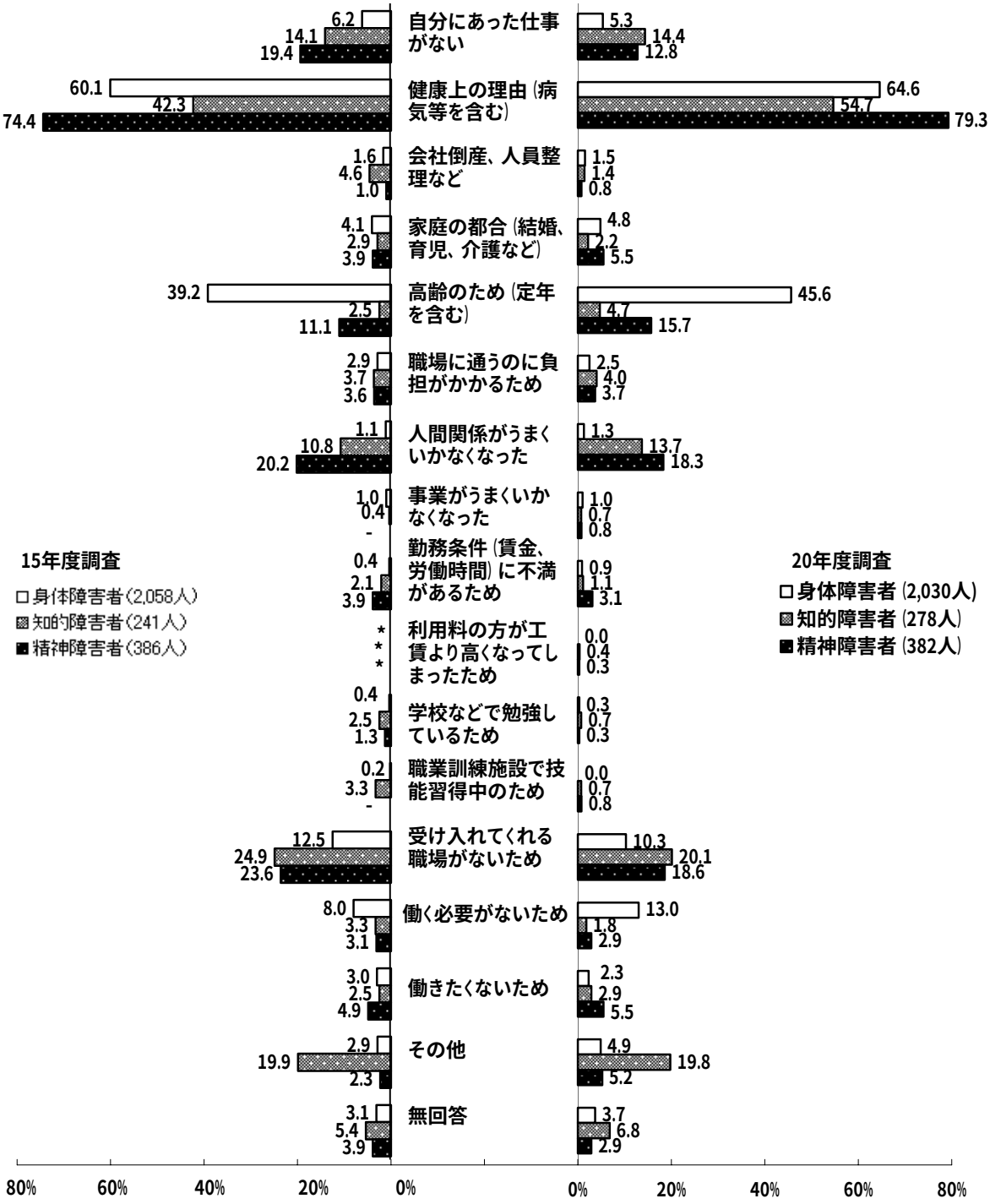
図Ⅴ-6-5　１週間の労働時間



（６）現在仕事をしていない理由〔複数回答〕

以前は働いていたが現在は働いていない人と、今まで働いたことがない人に、現在仕事をしていない理由を聞いたところ、「健康上の理由（病気等を含む）」の割合が身体障害者 64.6%、知的障害者 54.7%、精神障害者 79.3%とそれぞれ最も高かった。次いで、身体障害者では「高齢のため（定年を含む）」の 45.6%、知的障害者と精神障害者は「受け入れてくれる職場がないため」の割合が高くなっている（知的障害者 20.1%、精神障害者 18.6%）。「受け入れてくれる職場がないため」の割合は、身体障害者、知的障害者、精神障害者とも 15 年度調査に比べて下がっている。（図Ⅴ-6-6）

図Ⅴ-6-6　現在仕事をしていない理由〔複数回答〕



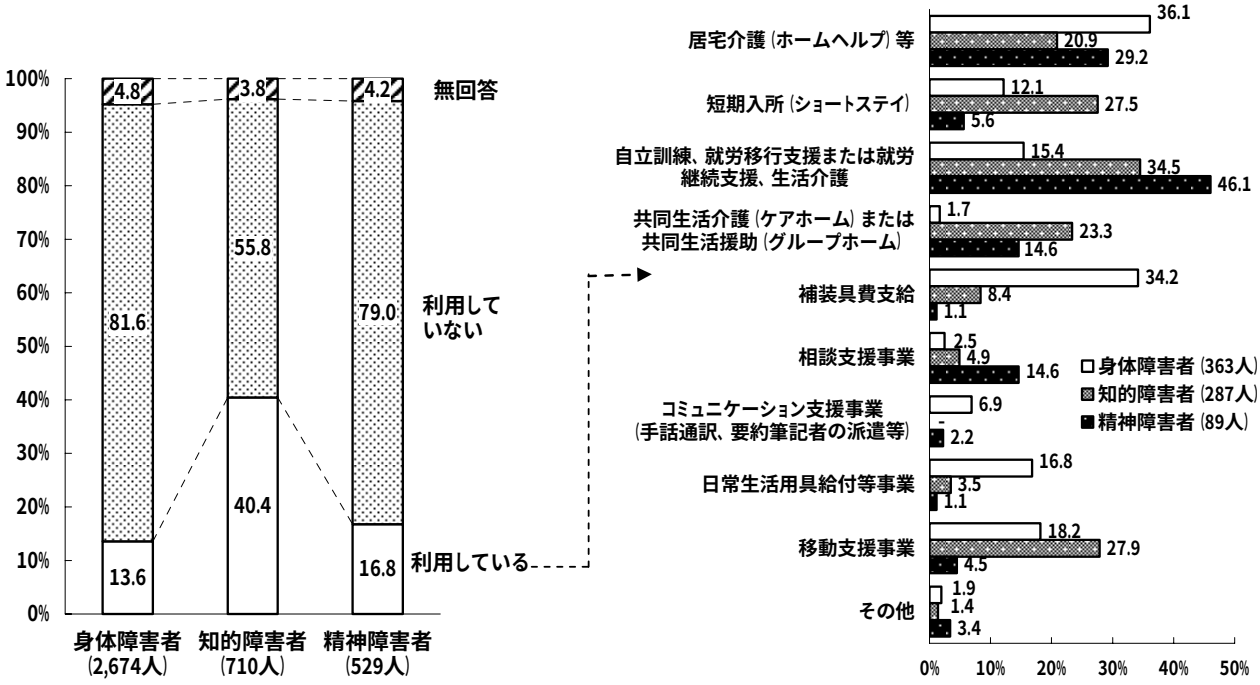
（注）*は前回調査時、選択肢がなかったもの。

7　障害者自立支援法による障害福祉サービス等

（1）障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用状況〔複数回答〕

精神障害者及び在宅で生活している身体障害者、知的障害者に、過去１年間の障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用状況について聞いたところ、利用した人の割合は、知的障害者は 40.4%と 4 割を超えていたのに対し、身体障害者と精神障害者はそれぞれ 13.6%、16.8%と１割台であった。利用した内容で最も割合が高かったのは、身体障害者では「居宅介護（ホームヘルプ）等」で 36.1%、知的障害者と精神障害者は「自立訓練、就労移行支援または就労継続支援、生活介護」の日中活動系サービスで、それぞれ 34.5%、46.1%となっている。（図Ⅴ-7-1）

図Ⅴ-7-1　障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用状況〔複数回答〕

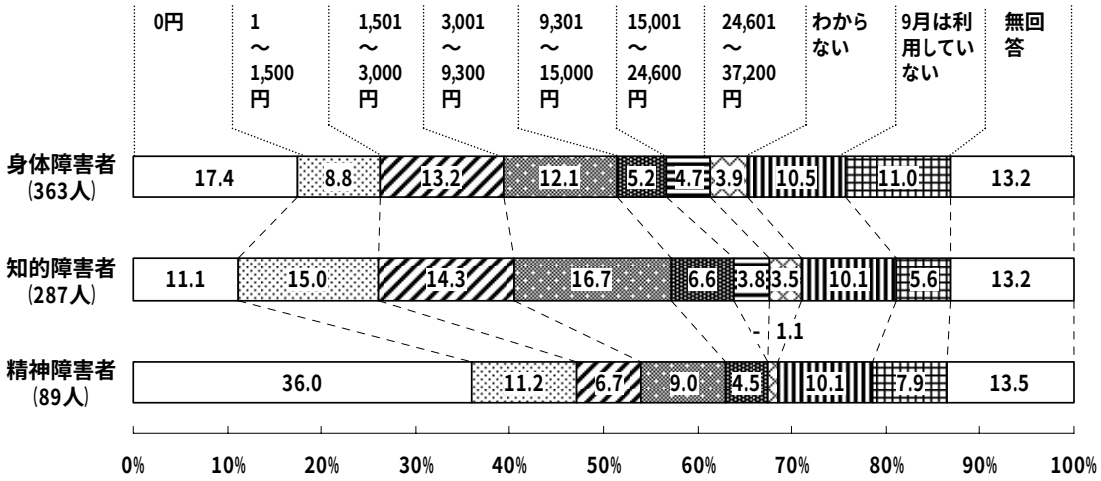


（注）「居宅介護等」には重度訪問介護、行動援護、重度障害者等包括支援を含む。

（2）1か月の費用負担額（食費等実費負担は除く）

過去 1 年間に障害者自立支援法による障害福祉サービスを利用したことがある人に、平成 20 年 9 月の費用負担額（食費等実費負担は除く）を聞いたところ、「0 円」の割合は、身体障害者が 17.4%、知的障害者が 11.1%、精神障害者が 36.0%であった。一方、15,001 円以上の割合は、身体障害者が 8.5%、知的障害者が 7.3%、精神障害者が 1.1%となっている。（図Ⅴ-7-2）

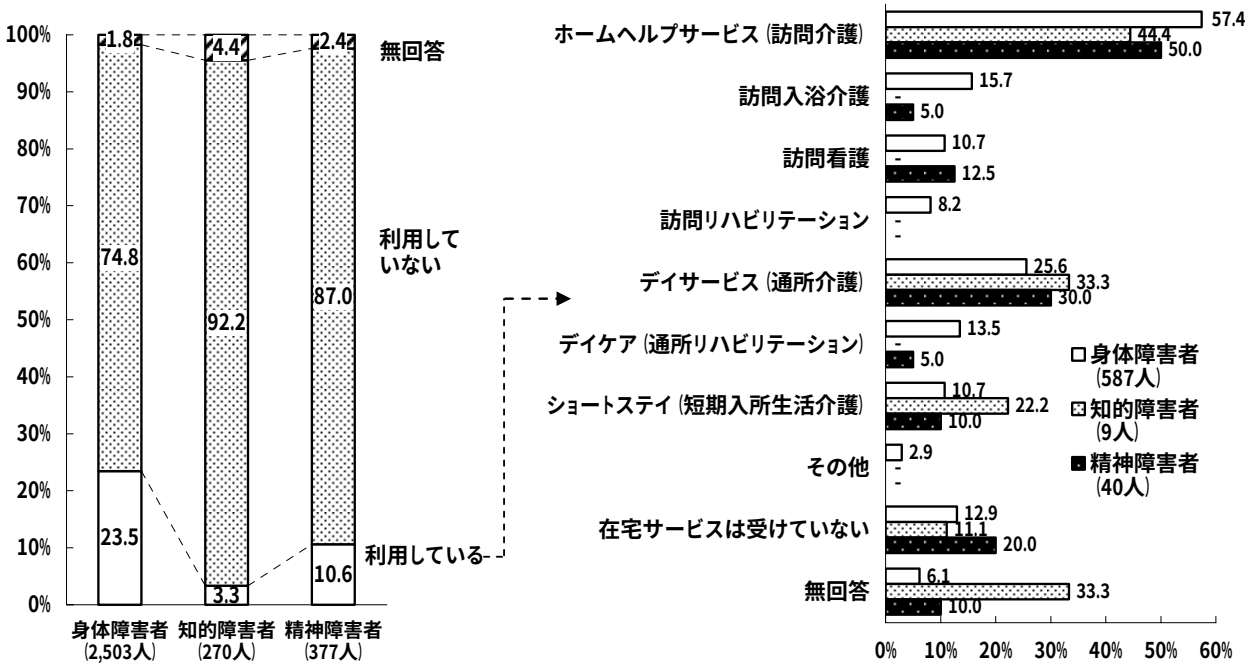
図Ⅴ-7-2　1か月の費用負担額（食費等実費負担は除く）



（3）介護保険で利用しているサービス〔複数回答〕

平成 20 年 10 月 15 日現在 40 歳以上の人に介護保険制度の利用状況を聞いたところ、「利用している」と答えた人の割合は、身体障害者 23.5%、知的障害者 3.3%、精神障害者 10.6%であった。また「利用している」と答えた人に、どのような内容の在宅サービスを利用しているか聞いたところ 3 障害とも「ホームヘルプサービス（訪問介護）」と答えた人の割合が最も高かった（身体障害者 57.4%、知的障害者 44.4%、精神障害者 50.0%）（図Ⅴ-7-3）

図Ⅴ-7-3　介護保険の利用の有無、利用しているサービス〔複数回答〕

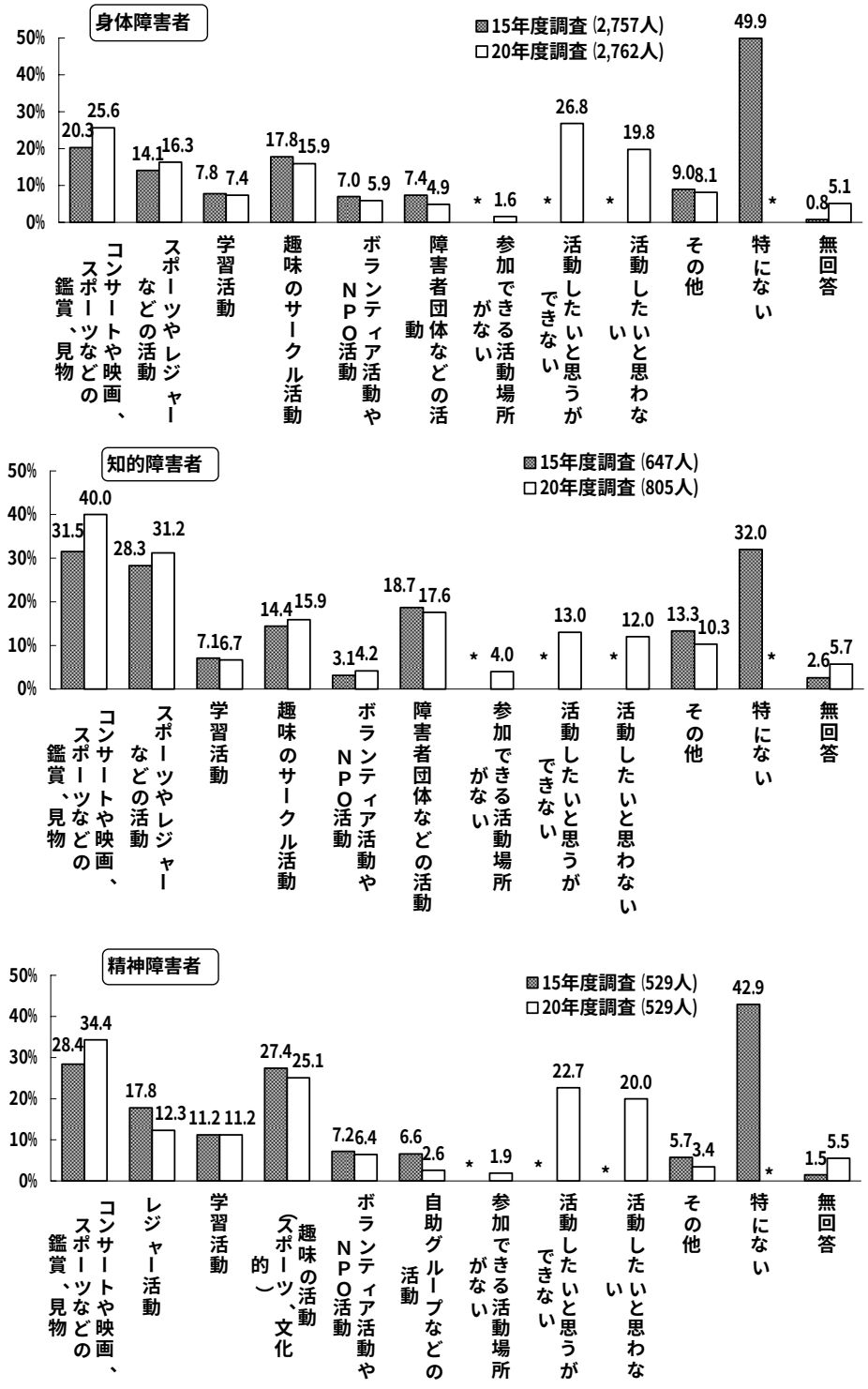


8　地域社会と社会参加等

（1）趣味や社会活動への参加〔複数回答〕

過去１年間に行った趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動を聞いたところ、3 障害とも「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、見物」の割合が最も高かった（身体障害者 25.6%、知的障害者 40.0%、精神障害者 34.4%）。また、「活動したいと思うができない」の割合は、身体障害者 26.8%、知的障害者 13.0%、精神障害者 22.7%で、身体障害者と精神障害者では 2 割を超えている。（図Ⅴ-8-1）

図Ⅴ-8-1 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕

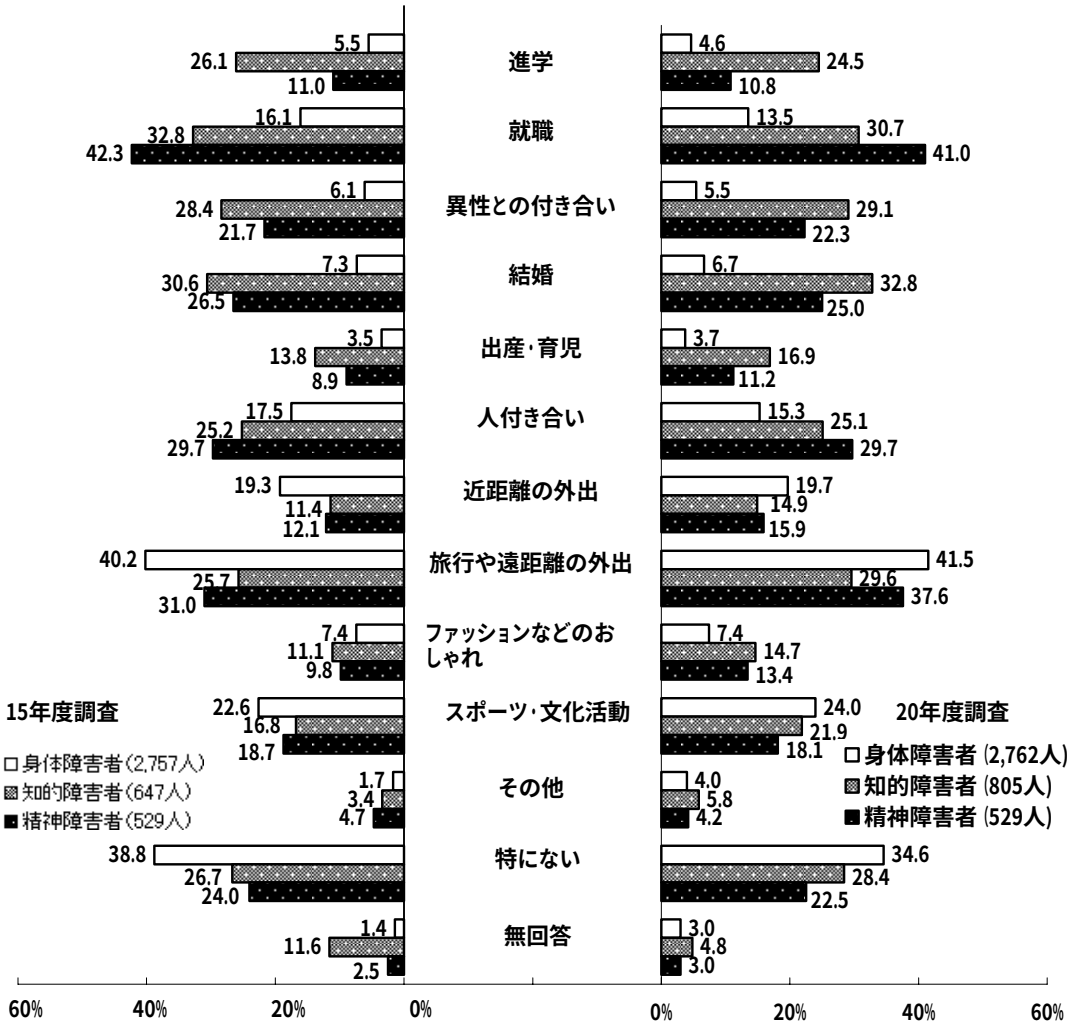


（注）*は前回調査時選択肢がなかったもの、又は今回調査で選択肢を設けなかったものである。

（２）障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕

障害のためにあきらめたり妥協したことを聞いたところ、最も割合が高かったのは、身体障害者は「旅行や遠距離の外出」の 41.5%、知的障害者は「結婚」の 32.8%、精神障害者は「就職」の 41.0%となっている。その他、知的障害者では「就職」（30.7%）、精神障害者では「旅行や遠距離の外出」（37.6%）が３割を超える高い割合となっている。（図Ⅴ-8-2）

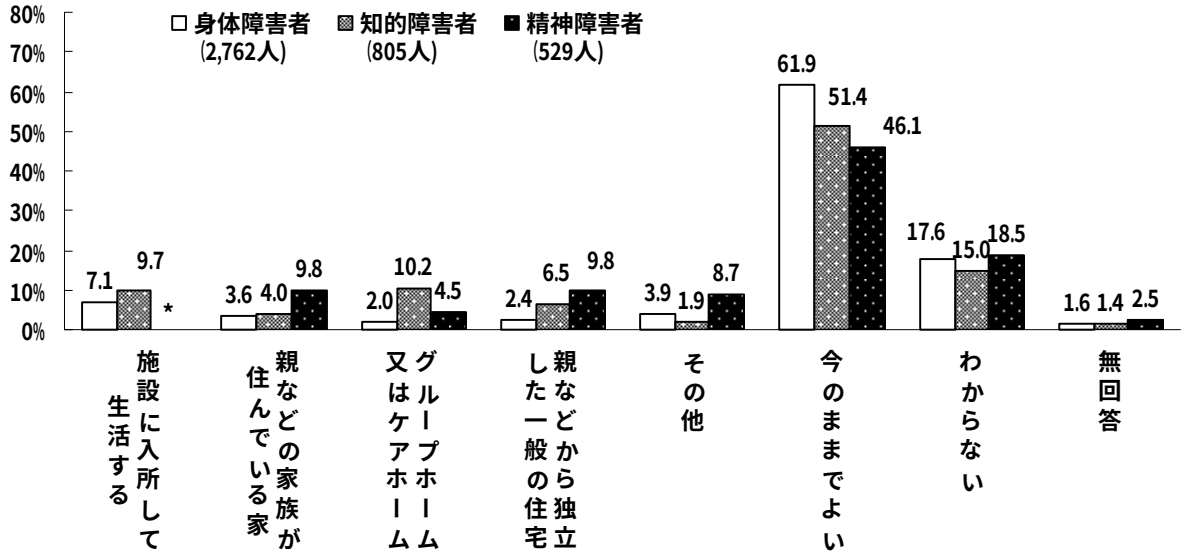
図Ⅴ-8-2 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕



9　将来どこで暮らしたいか

将来どこで暮らしたいか聞いたところ、3 障害とも「今のままでよい」の割合が最も高かったが（身体障害者 61.9%、知的障害者 51.4%、精神障害者 46.1%）、知的障害者は「グループホーム又はケアホーム」の割合が 10.2%と 1 割以上である。精神障害者は、「親などから独立した一般の住宅」と「親などの家族が住んでいる家」がそれぞれ 9.8%と約 1 割となっている。（図Ⅴ-9-1）

図Ⅴ-9-1　将来どこで暮らしたいか



（注）*は選択肢を設けなかったもの。